

# ラボへの投資の価値を 維持

Agilent CrossLab  
拡張延長保証



## 生産性を最大化し、所有コストを低減

点検サービスにより、1年あたりのダウンタイムを平均3.4日削減できることをご存知でしたか？\* 想定外のダウンタイムにより1日あたり最大10,000ドルのコストがかかっていることを考えれば、これは朗報です。\*\*

Agilent CrossLab 拡張延長保証により、稼働時間の最大化と、今後の機器投資に対して計画を立てることをお奨めします。\*\*\*アジレントの純正部品を用いた保証修理を含め、1年が経過した後も、機器の標準保証期間が延長される費用対効果に優れた方法です。

次のようなメリットがあります。

- 必要なすべてのオンサイト出張修理費用が対象
- 修理に必要なすべての機器部品、消耗品が対象
- 有償修理サービスよりも優先的な対応による迅速な修理
- 1年間の保証期間以降、年1回のオンサイト点検サービス

詳細は[ホームページ](#)をご覧ください。

\* 第三者機関がアジレント機器と他社製機器の修理依頼38,000件以上を対象に実施した5年間にわたる調査に基づきます。

[https://www.chem-agilent.com/pdf/low\\_5990-5938JAJP.pdf](https://www.chem-agilent.com/pdf/low_5990-5938JAJP.pdf) でホワイトペーパーをご覧ください。

\*\*機器ダウンタイムの経済的損失に関する顧客の自己報告を対象としたアジレントの包括的な調査に基づく平均値。

\*\*\*新たな機器購入時のみ対象。

Agilent  
CrossLab

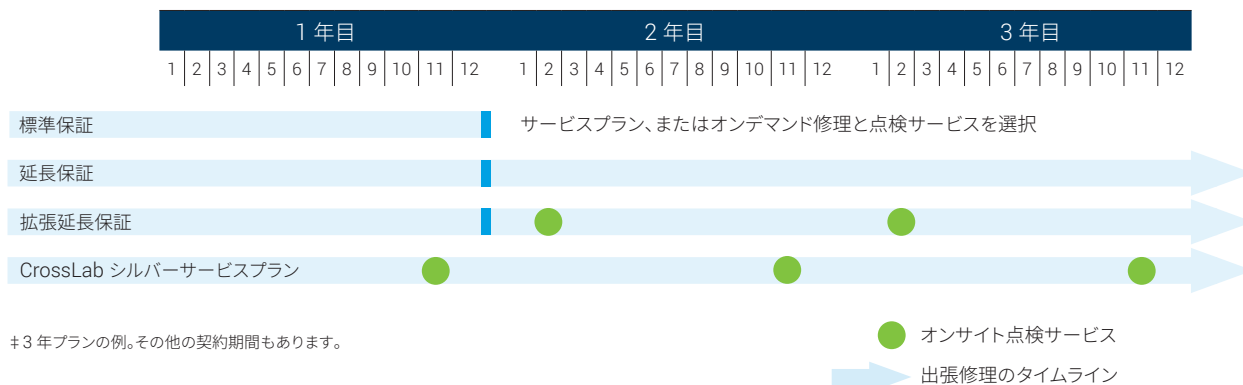
From Insight to Outcome

## Agilent サービスギャランティ

メーカーを問わず、Agilent CrossLab サービスプランの対象機器を修理できなかった場合は、エスカレーションプロセスで、機器の無償交換などにより問題を解消します。†

†利用規約が適用されます。

## 点検を機器サービスの一環に\*



\*3年プランの例。その他の契約期間もあります。

## 単なるサービスプランではなく、ビジネスを成功させるためのパートナー



**コンプライアンスサービス**：規制リスクを軽減し、分析業務に専念できるようにします。アジレントの機器適格性評価、およびコンピュータシステムバリデーションサービスは、規制対象業界で継続的に1位に評価されています。さらに、分析機器適格性評価に対してきわめて厳格な品質標準を設けることにより、フルコンプライアンスを保証するように設計されています。



**複数年サービスプラン**：継続したサービスによって安心して価格の上昇に対応し、戦略的取り組みを促進できます。プランの期間を通じて価格が固定される、複数年プランをご利用ください。



**マルチベンダーサービス**：複数の分析機器メーカーにまたがり機器サービスを簡素化します。Agilent CrossLab マルチベンダーサービスは、他社製機器に対する包括的なサポートを提供することで、お客様の分析機器全体においてスケジュールされたメンテナンスと予定外のメンテナンスを効率化します。



**Agilent University**：科学分野の経歴における自信を確立し、専門知識を養います。クロマトグラフィーや質量分析、分光分析などを対象としたトラブルシューティング、メンテナンス、サンプル前処理、ソフトウェアのオペレーションに関するコースにより、ラボ運用を改善し、ダウンタイムを削減できます。



**メソッドおよびアプリケーションサービス**：ワークフローを最適化し、最新技術を導入します。Agilent CrossLab と連携しながら、アプリケーションの問題を克服し、新しいメソッドの開発・実装にかかる時間を削減します。

Agilent CrossLab 拡張延長保証サービスプランのメリットについては、アジレント担当者にお問い合わせいただくか、または[ホームページ](#)をご覧ください。

ホームページ

[www.agilent.com/chem/jp](http://www.agilent.com/chem/jp)

カスタムコンタクトセンター

0120-477-111

[email\\_japan@agilent.com](mailto:email_japan@agilent.com)

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

DE73712277

アジレント・テクノロジー株式会社  
© Agilent Technologies, Inc. 2022  
Printed in Japan, October 3, 2022  
5994-3608JAJP